



本康歯科ニュース



「世界中のどの歯医者に行くよりも、この歯医者に来て良かった！！」と思ってもらえる歯科医院をめざして！！

小児期の口呼吸について

口呼吸とは、鼻からの呼吸が行えず、あるいはその割合が少なく、長時間にわたって口で呼吸することと定義されています。人間の呼吸は、鼻呼吸を基本とし、加温・加湿・除塵機能があり、口呼吸を行うと、直接気管や肺に外気が入り、炎症を絶えず惹起することになります。口呼吸を助長する原因のひとつに口唇の閉鎖する筋力の低下がみられます。何もない日常に口をポカーンと開けているお子様は要注意です。口呼吸の関連因子として次のようなものがあげられます。アトピー性皮膚炎・喘息・アレルギー性鼻炎・花粉症・風邪をひき易い・寝相が悪い・猫背・鼻がつまりやすい・くしゃみ鼻水がよく出る・のどが痛む・耳が聞こえにくい・いびきをかく・口が渇く・口臭がある・口をあけて寝る・唇がカサカサ・唇が厚い・上唇がめくれている・唇にしまりがいい・唇が切れ易い・歯ぐきに黒の着色・歯に着色し易い・口内炎がよくできる・クチャクチャ音を立てて食べる・食事中によく水分をとるなどがあげられます。

口呼吸により、

口腔内乾燥→唾液の機能低下→むし歯・歯周疾患

のど・扁桃周囲の乾燥→細菌の感作→扁桃肥大・アレルギー疾患・睡眠時無呼吸症候群・集中力低下

口唇閉鎖力と舌圧の不均衡→顔面軟組織形態・歯列咬合異常

など2次的・3次的に弊害をもたらす事もあります。

気になるお子様をお持ちの方は一度ご相談ください。

あなたも
“歯科通”に
なれる…!?

歯医者が出題する“歯とお口”のクイズ



「**歯周病**」は歯を支えている骨が溶けてしまう病気で、歯を失う原因の第1位でもあります。

この病気は自覚症状がほとんどなく、気づいた時には歯を抜かなくてはならないほど進行していた、といったケースも少なくありません。

歯周病の初期症状は、**歯ぐきの腫れ、赤み、出血**といったものですので、症状のある方はお早めにご相談ください。そこで今回はこんな問題を出题!

Q

“30歳以上”のおよそ何パーセントが歯周病になっているのでしょうか？

1 10%

2 30%

3 50%

4 80%

